

白聖

第 04 号 平成 27 年 6 月 1 1 日発行

題字 福井陽子(本校芸術科教員)



高校総体を終えて

みなさん、高校総体への参加お疲れ様でした。選手・サポート役・応援など、それぞれの立場で参加したわけですが、特に選手として最後の舞台であった3年生の諸君は完全燃焼できたでしょうか。ひよつとして、心にくすぶるものが残っている人もいるでしょうか。しかし、そういった感情も含め、コミュニケーション力や主体性・計画性・忍耐力など、数え切れないほどの能力が「キャリア」として身につけているはず。それらの能力を意識し、スキルとして応用していくことは、これからの長い人生をきつと有意義なものにしてくれるはずです。もちろん、これから直面する「受験」においても、後輩の皆さんはむしろこれからの3年生の姿に注目し、お手本としていきましょう。

特集①

変わる学力観、変わる入試

—東京大「推薦入試」から見えるもの

「グローバル化する社会」というフレーズは、もうだいぶなじみのあるものなので、なんとなくイメージは持っていると思います。しかし、日常的にその現実を肌で感じることはあるのでしょうか？そしてこの時代の波が、日本にとって「脅威」であることに気づいているでしょうか…？

図からもわかるとおり、我が国のGDPは年々相対的に低下しており、国際競争力が



注) IMF World Economic Outlook Database を元に作成

弱くなっていることがわかります。加えて、**▼少子高齢社会が加速して▼生産年齢人口も減少の一途をたどり、二〇六〇年には現在のほぼ半分にまで減少する見込みです。**この状況で現在の経済的な豊かさ、安全で便利な社会生活を維持するには「個」の生産性を上げるしかありません。この「個」とは、次代を担う皆さんのことなのです。では「個の生産性」とはいったい何なのかを教育の面から解釈します。「生産性」とは要するに一人一人の「能力」のことで、現状に即して言う、「流動的で多様なグローバル社会において生き抜く力」となります。より具体的には次の四つだと考えられています。

▼の語について、「日本の論点」などで調べよう。

期待される学生像

自ら**主体的に**学び、各分野で**創造的役割**を果たす人間へと**成長**していこうとする意志を持った学生です。

入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味関心を生かして幅広く学び、その過程で見いだされるに違いない**諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人**を東京大学は歓迎します。

2015/5/16 北東北五校進学連絡協議会講演会資料(東京大学理学系研究科長 福田裕穂氏)より抜粋。

- ① 他者と協働し新たな価値を創造する力
 - ② 課題を発見し解決するための思考・判断力
 - ③ 他者の意見を聞き、自らの意見を述べる力
 - ④ 高い志を持って主体的に学び続ける力
- 対話力・表現力
- これらは抽象的理論でもなければ、空疎なスローガンでもありません。先に述べたとおり、直面する危機を回避するために、次代を担う皆さんが身につけるべき必須の能力です。2016年入試から東京大学が推薦入試を導入したのにはこうした背景と見通しがあつてのことです。東大は、右の①～④の能力を持った学生を求めています(左の「期待される学生像」参照)。自律自啓を旨とする本校生徒諸君に適した入試だと思えます。臆することなくチャレンジしてみましよう。

6月の目標	1学年	2学年	3学年
	自分の将来を思い描く－ 文理選択	部活と両立，切り替えを早く	受験生としての自覚と行動

行事レポート①
弘前大学医学部スクーリング【5/16】

弘前大学医学部医学部を会場として「医学部スクーリング」が開催され、本校からも二十二名が参加しました。県外からもたくさんの方々が集まり、会場は熱気あふれる刺激に満ちた雰囲気だったようです。参加した人のレポートを一部紹介します。

医療に関する知識をもっと身につけておかないと、センター以前に落とされてしまうなど感じました。意識して医療のニュースに触れる機会を増やしていきたいです。質疑応答の時に、質問していた人たちが、意見もまとまっていたので、はきはきして、自分とは全然コミュニケーション力が違うなど切実に思いました。(3年 中村日和子)

2年生の自分が参加しても全然問題のないような講義内容だった。AO入試の仕組みについて詳しく知ることが出来たのはもちろん、入学後、どのようなカリキュラムで進んでいくのかということや、医師になってからについてのことなども知ることが出来て良かった。自分の進みたい道を明確にし、日々の生活を大切にしていかなければならないと感じた。(2年 津川創)



●5/7佐々木遥さんの講演から－ 前号の【解答】

問(1)下表の $X^1 \cdot X^2 \cdot X^3$ に当てはまる数値を答えよ。(2)この表の「配点比率」「合格者得点比率」からどのようなことが分かるか、説明せよ。

東北大・工学部	センター試験	個別試験	合計点
配点	450点	800点	1250点
配点比率	1	1.8	—
合格者平均得点率	81%	X^1 60.2%	68%
合格者平均得点	364.5点	X^2 481.8点	846.3点
得点比率	1	X^3 1.3	—

配点比率は 1 : 1.8 で、個別試験がセンター試験に比べ2倍近い比率となっており、一見「個別試験重視」「個別試験で挽回可能」と思いがちだが、合格者平均得点のセ試：個別比率は 1 : 1.3 となり、実際はセンター試験の比率が実際の配点より相対的に高いことが分かる。よって、個別試験の配点が高いからと言ってセンターを軽視する考えには根拠がなく、個別試験で挽回するのは相当難しい。

2015/6月 おもな進路行事			
	1学年	2学年	3学年
6 10 水			推薦AO指導説明会①
22 月	一学期末考査(～25日まで、4日間)		
23 火	↓		進路検討会
24 水			進路検討会
25 木			
26 金			東北大工学部講演会 推薦AO指導説明会②

■第4号から、「白聖」の題字が変わりました。本校書道教員福井陽子氏の揮毫です。勢いと潔さを感じます。ありがとうございました！

進路指導室のこえ④——コラム
「つくば通信」
私笠井は、いま茨城県つくば市にある「教員研修センター」で中堅教員研修というプログラムに参加しています。8時30分から17時まで講義・演習・討議、宿舎に帰ってレポートの作成：という日々です。内容は教育法規・組織マネジメント・国際理解教育：：：などなど、多岐にわたって復習が追いつかないほどです。ここで身につけた知識・技術を生徒の皆さんや学校内外の教職員に還元するのが私の責務です：。ここは郊外(田舎ともいう)で街灯もなく、ただ暴走族の空ぶかしの音が夜間を切り裂くばかり：。でも！「ほっともつ」と「すき家」は、あります！(あつし)